総務委員会事業報告

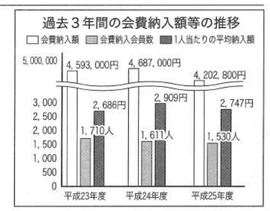
総務委員長　河口敦司

静商同窓会の運営は在学卒業時に納めていただく入会金と卒業後に納めていただく維持会費とでまかなわれています。昨年度は一五三〇人の会員皆様から四二〇万二千八百円を納めていただきました。ここに厚く感謝申しあげます。

同窓会の健全な運営には、運営資金の円滑な調達が不可欠であり今後とも一人でも多くの会員の皆様のご協力をお願いします。

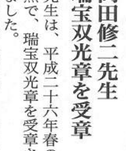
なお、本年度からコンビニエンスストアから振込ができますので、ご利用ください。

◎平成26年度
目標金額五〇〇万円
年会費は一口二、〇〇〇円
◎回卒別目標額
・第24回～第52回五〇万円
・第53回～第59回一五〇万円
・第60回～第75回二〇〇万円
・第76回～第85回一五〇万円
・第86回～第96回一〇〇万円
・第97回～第115回　五〇万円
・定時制各回　五万円
◎会費目標額を達成された回
第45回　第52回　第55回
第56回　第57回　第58回
第60回　第63回　第65回
第73回



ごあいさつ

校長　野﨑英二



同窓生の皆様には、ますます御健勝にて地元静岡市を始め県内や全国各地で御活躍のことと推察いたします。この度、静岡県立静岡商業高等学校に再度赴任できたことに感謝するとともに本校の伝統と歴史の重さを実感しています。微力ながら最善を尽くす所存ですのでよろしくお願いいたします。

本校は明治三十二年に創立され、今日に至るまで一一七年の歴史を有する商業教育の伝統校であり、県内商業教育をリードする中心校でもあります。創立以来の校訓「剛健進取」はこの間、脈々と受け継がれ、静商生一人ひとりの精神的な支柱として現在に至っています。

私は、平成二十六年四月に本校に赴任いたしました。着任当日、本校の正門から見る学舎は大変眩しく輝いて見えたことを鮮明に記憶しています。もう一つ記憶に残っていることがあります。それは管理棟の西側、安倍川の土手と本校の敷地の境にある「開物成務」の像です。裃を身に付け武士の正装をしたその像は優しく微笑んで正座しています。どのような由来があるのか興味津々でした。

同窓生を始め本校に係わる方々の多くは御存じのとおり、出典は「易経」で、「開は閉じふさがり通じないものを開き発展させる意、物は万物、成は成就の意、務は職務・事業の意です。略して「開成」とも言い、物を開きき勤めを成す（ものをひらきつとめをなす）と音読することができます。この像の台座の向かって左側面には、静岡学徒水防作業奉仕記念、昭和十九年九月と記されています。伝統として受け継がれ、歴史を感じるものの一つとして紹介させていただきました。正門右横の剛健進取の碑や蘇鉄、正面玄関前の想友の碑等々、校内を歩けば至る所に開校以来の記念物が散在しています。このような伝統の中で脈々と培われてきたものが商業教育です。創立一一七年を迎える平成二十六年度当初、これまでの伝統ある商業教育に更に一層の磨きを掛け校訓「剛健進取」の下、自らの目標に向け、力強く意欲的にかつ主体的に活動し、他を思いやる心と高い志を持ち、感性豊かで健全な心身を育むとともに社会に有為な人材を育成する。これを実現するために、（1）基礎学力の向上、（2）進路指導の充実、（3）基本的生活習慣の定着、（4）心身の鍛錬と健全な精神の育成、（5）保護者や地域との連携、（6）体罰やいじめの根絶を重点取組として挙げ、教職員が一丸となってこの目標を達成できるよう努力しています。

在校生も頑張っています。その一部を紹介すると、運動部活動ではソフトテニス部が全国大会に出場し、文化部では簿記部が全国高等学校簿記選手権大会に出場し、団体の部で見事六位に入賞し、個人でも優良賞や佳良賞を受賞するなどの目覚ましい活躍がありました。今後とも、文武両道を目指し、多くの諸先輩方の実績に追いつけるよう精一杯努力してくれるものと確信しております。

最後になりますが、同窓会の皆様のより一層の団結と会員の皆様方のますますの御活躍を祈念申し上げ、ごあいさつとさせていただきます。

クラブ奨励委員会事業報告

クラブ奨励委員長　神山和男

皆様には母校部活動に対し多大なご支援ご協力を頂き、誠にありがとうございます。

硬式及び軟式野球部共に残念な結果に終わりましたが、男女ソフトテニスが全国大会に出場しました。

特に、男子学校対抗戦においては、実に34年ぶりの全国大会でした。

文化部の全国大会出場は、簿記会計部と美術部でした。

平成26年度静商同窓会会計決算・予算書

自 平成26年4月1日　至 平成27年3月31日

（収入の部）　（単位：円）

費目	平成25度予算額	平成25年度決算額	平成26度予算額	備考
入会金	2,450,000	2,450,000	2,420,000	卒業生242名
年会費	5,000,000	4,202,800	5,000,000	1,530名（前年度実績）
寄付金	300,000	2,000	300,000	クーポール会関係より
雑収入	20,000	68,040	20,000	利息他
前年度繰越金	7,189,381	7,189,381	6,442,216	
合計	14,959,381	13,912,221	14,182,216	

（支出の部）

費目	平成25度予算額	平成25年度決算額	平成26度予算額	備考
会議費	60,000	9,297	10,000	
総会費	830,000	800,000	800,000	
事業費	4,750,000	4,482,675	4,500,000	総務マネジャー管理費、各教育以外関係行費、会報発行費、クラブ奨励費、組織強化費等
事務費	2,160,000	2,178,033	2,160,000	
予備費	100,000	0	100,000	
計	7,900,000	7,470,005	7,570,000	
次年度繰越金	7,059,381	6,442,216	6,612,216	
合計	14,959,381	13,912,221	14,182,216	

※大項目のみを掲載。詳しくは、定時総会の資料を参照してください。
※備考欄は主に予算額に対するもの。

平成26年度教育振興基金（委）予算書

自 平成26年4月1日　至 平成27年3月31日

収支の部　（単位＝円）

項目	平成25年度予算	平成25年度決算	平成26年度予算	備考
前年度繰越金	50,539,678	50,539,678	46,904,833	
寄付金	30,000,000	28,350,000	0	
雑収入	500,000	853,767	500,000	各種預金利息
合計	81,039,678	79,743,445	47,404,833	

支出の部

項目	平成25年度予算	平成25度決算	平成26年度予算	備考
教育振興基金	33,050,000	32,438,957	3,060,000	
学業優秀生徒表彰金	500,000	487,200	500,000	記念品（時計）
選手派遣助成金	1,000,000	1,161,000	1,200,00	全国・東海大会出場者
優秀生徒表彰資金	200,000	206,799	210,000	
功労生徒表彰資金	50,000	15,120	50,000	
課題研究助成金	300,000	272,049	300,000	ハンブルグ語講師謝礼・ホームページ関係
緊急支援資金	31,000,000	30,296,789	800,000	東大式、勉志、勤代会・女性セミナー等支援
運営費	110,000	49,655	110,000	
会議費	50,000	38,290	50,000	
事務費	30,000	3,000	30,000	
通信・雑費	30,000	8,365	30,000	
支出合計	33,160,000	32,488,612	3,170,000	
価格変動準備金	0	350,000	0	
次年度繰越金	47,879,678	46,904,833	44,234,833	
合計	81,039,678	79,743,445	47,404,833	

教育振興基金管理・運営委員会

平成25年度事業報告

委員長　中村佳弘

当委員会は、平成十一年十二月一日、同窓生の皆様の尊い寄付金八千五百万円を原資としてスタートし、十五年目になります。

新年度は、四千六百九十万円余でスタートしております。設立当初は、二十年間程度、支援活動が出来ればと考えておりましたが、有志の方々による多額の寄付金もあり、今後十五年間程度は継続して出来ると見込まれます。

支援事業内容と支出金額につきましては、決算書、予算案を御参照下さい。なお、備考欄は主として予算案に対するものです。

一、支給内容

◎学業優秀生徒表彰　6名
（各クラス一名）

◎選手派遣助成金授与　172名
・全国大会出場
簿記会計部・男子ソフトテニス部・軟式野球部
・東海大会出場　129名
軟式野球・実務競技大会（簿記会計、情報処理、珠算・男女ソフトテニス部・水泳部・珠算部）

◎クラブ活動優秀生徒表彰　90名
・優秀者賞　23名
表彰状、メダル贈呈
・奨励者賞　67名
表彰状、ボールペンセット贈呈

◎功労者賞
・日商簿記検定一級合格一名
・クリスタルトロフィー贈呈

◎その他
・関東・関西支部助成
・中学生一日体験入学に
SEISHOクリアファイル進呈
・ハングル語講師謝礼
・応援団フェスティバル支援
・女性セミナー立ち上げ支援
・静商成人式支援

平成26年11月16日、各部活指導者にお礼とともに謝礼を手渡しました。各部活指導者と神山委員長（中央）

組織委員会事業報告

組織委員長　古牧清孝

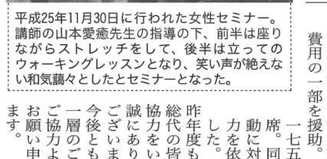
組織委員会は、事業計画に基づき組織の強化を目標として活動しております。

・ブロック長、各委員において活動報告及び意見交換等を行い、現状改革将来の活動計画に結び付ける会議を開催いたしました。

・昨年十一月三十日「あざれあ」にて同窓会員の女性を対象とした、第二回「女性セミナー」開催。参加者四十五名、「10歳若返る美と健康法」で大好評でした。

・新規同期会立ち上げ支援と部活動OB会立ち上げ支援は今回はありませんでした。

平成25年11月30日に行われた女性セミナー。講師の山本愛癒先生の指導の下、前半は座りながらストレッチをして、後半は立ってのウォーキングレッスンとなり、笑い声が絶えない和気藹々としたとセミナーとなった。



組織委員会主催の第１回ウォーキングが、11月30日に開催された。約100人が由比を100倍楽しむイベントに参加した。

支部・同期会・同期生短信

岡田修二先生 瑞宝双光章を受章

先生は、平成二十六年春の叙勲で、瑞宝双光章を受章されました。

昭和五十六年四月～昭和五十九年三月まで商業科教員として勤務。また、平成十四年四月から校長として静商に勤務され、平成十六年三月、静商を最後に定年退職されました。

牧田秀二先生 瑞宝小綬章を受章

平成二十六年八月四日、瑞宝小綬章を受章されました。

先生は、昭和26年本校に赴任、20年の長きにわたり生徒をご指導されました。昭和五十一年四月～昭和五十五年三月まで、再び静商の教頭として勤務され、袋井商業校長を最後に定年退職されました。

関東支部

「静岡のお・も・て・な・し」
飲んで・食べて・語り・歌い・踊る

今年も、平成二十六年七月十二日（土）に東京プリンスホテル・ガーデンアイランドで、今年のテーマ「静岡のお・も・て・な・し」を合言葉に、平成26年度静商同窓会関東支部総会・懇親会が盛大に行われた。関東在住の192名の静商同窓生に、本部の平野会長をはじめ、母校の笠井義明副校長、恩師澤井一博先生、応援団OB会を加え、212名が、台風8号一過、東京の晴天の空のもとに集った。

第1部総会では、吉澤支部長の挨拶、本部平野会長、笠井副校長ご挨拶のあと、予定通りの議事を満場一致で承認した。引き続き、日本テレビの「行列ができる法律相談所」で話題となった、母校の澤井一博先生の「メッセージテスト」の裏話を聴いた。

第2部懇親会は、S36・46・56年卒の当番幹事の企画で、大野康彦氏（S46年卒）の司会で進行した。

元・広島カープ池谷公二郎氏が当番幹事（S46卒）でもあり、広島からかけつけて、楽しいお話をしてくれました。応援部会や同好会の紹介、恒例となった応援団OBによる、校歌・応援歌とビバ静商応援パフォーマンスで盛り上がった。

◆全国大会出場の部活に金一封を贈る

平成二十六年七月十六日、関東支部は、全国大会に出場する五大クラブに金一封を贈った。校長、副校長、教頭、各クラブ顧問が出席された中、各クラブの部長に校長より手渡された。

▼http://www1.cts.ne.jp/~seisho/
連絡先　関東支部広報部会
平井幸雄氏（昭36年卒）

静商同窓会関東支部総会・懇親会

全国大会に出場する各クラブに野崎校長より手渡された。

中部支部

中部支部は現在41名の会員が登録し、年一回の同窓・懇親会と「中部支部だより」を年に3～4回発行することで、会員の親睦を深めています。

今年も5月に開催された同窓・懇親会に16名が参加しました。例年より人数が少ない分、全員に一分間スピーチで自由に語ってもらいましたが、昔話をさせたら当然1分では足りず横槍で盛り上がり、お腹をかかえて笑ってしまうやり取りもありました。

年代は様々でも通じるものが多く、つくづく静商の卒業生でよかったなと思ってしまうひと時でした。締めはもちろん校歌斉唱♪　年一回思い切り校歌を歌える場として、それが楽しみで参加している方もいるくらいです。

平均年齢は少々（？）高めですが、小規模ながらアットホームな雰囲気で今後も楽しく活動を続けていきたいと思っています。

▼連絡先　支部長　坂本周造氏
メールアドレス
syuzo@mc.conv.jp

支部長の石垣氏のあいさつ（右）と波メロディーを歌って大いに盛り上がった。

抱腹絶倒の１分間スピーチ　支部総会の楽しみです

藤枝支部

平成二十五年十一月十七日、藤枝支部の総会を開催。総会に先立ち、卒業生（昭42年卒）の参議院事務局等に勤務された高塚年明氏に講演をしていただきました。〈中国はなぜ反日になったのか〉という議題で、時局にあった講演内容に、大変好評を得ることが出来ました。

その後総会、懇親会に移りました。

出席者総勢80名。笠原正和校長先生、平野健市同窓会会長様、中村副会長様、下村副会長様をお迎えし、旧交を温め懇親を深めた意義ある懇親会でした。

会の最後は恒例の校歌斉唱！千葉勝央様をはじめとした9名の応援団OBの指導の下、〈波メロディー〉を歌い、大いに盛り上がり再会を期し散会となりました。

▼連絡先　支部長　石垣善康氏

関西支部

昭和十三年創立の大阪支部から平成七年関西支部に改称し、活動を再興して本年は二十周年を迎え、記念行事を計画した。五月に静高との定期戦応援を兼ねた母校見学を実施。青春時代を思い出しながら応援し、勝利の「波メロディー」を唄い感激した後、夕食は由比の桜えび料理に故郷の味覚を満喫しながら観戦報告に花が咲いた。

翌日は、安倍川橋たもとの元支部長上坂浩通氏の墓参をした後母校を訪れた。昔の面影を残すものは殆ど無く寂しさもあったが、礼儀正しい後輩諸君に出会い、半世紀以上前の静商時代が懐かしく脳裏をよぎった。

六月には「映像と音楽で綴る我が母校」と題した手づくりDVD・CD3点セットの記念品を全員に贈った。母校の歴史、硬式野球部の足跡DVDと校歌応援歌、行進曲等が入ったCDで、母校の思い出が詰まり生涯の宝物にしたいとの嬉しい声も頂いた。

六月二十一日第20回支部総会懇親会を大阪の中心地梅田で開催した。ご来賓には例年同様、本部役員母校県関係の方々と今回初めて静中・静高同窓会関西支部長がご出席され、それぞれご挨拶を頂いた。永年に亘り関西支部の絆づくりと健康増進にご尽力賜った大津一晃氏（56回）に感謝状を贈呈した後、議事の審議に移り、現山内支部長の退任により新井皓之氏（56回）を新支部長に選任した。懇親会は黒ハンベ、山葵づけもテーブルに並び故郷の香り溢れ、懐かしい思い出話に会場は盛り上がり、最後は校歌応援歌を合唱し、帰りは桜えびと深蒸し茶を手土産に散会した。

▼連絡先　幹事長　富坂誠二氏
☎072－699－0256
Eメール
seitomisaka@maia.conet.ne.jp

辰巳会（第60回　昭34年3月卒）

恒例の辰巳会総会が平成二十五年十一月九日、クーポール会館で49人（うち女性4名）の出席で開催されました。

平野同窓会会長より、学校及びクラブ活動等の近況の説明をいただき、幹事からは静商ギャラリーの利用のお願い等、海野光弘氏のチラシを配りました。会食、懇談では、世界遺産になった富士山の写真集・カレンダーの抽選会が行われて、会を盛り上げ、校歌斉唱で終了しました。

第67回同期会（第67回　昭41年3月卒）

第67回の同期会が、平成二十五年十月五日静岡グランドホテル中島屋で開催された。

当日は同期生77名が出席し、物故者へ黙祷を捧げた後、関東支部の近況、ネットの会の活動状況等の報告が行われ和やかに楽しく旧交を温めた。締めに元応援団長のエールにより応援歌・校歌を斉唱し散会した。

むつごろう会（第65回　昭39年3月卒）

むつごろう会の同期会が、平成二十六年十一月十五日、クーポール会館にて開催された。約90名が再会を喜んだ。

「謄写印刷部」

謄写印刷ってなに？そう、もう知らない人が多いかも知れません。昔、ガリ切りと言っていたものです。

クラブでは、本の挿絵、浮世絵、年賀状の作成をなんとカラーで多色印刷をしたり、また、ピンホールいう手法で映画、スター等の写真を利用し、オリジナル写真そっくりの印刷物を作成したりもしていました。

マイナーなクラブでしたが、谷島屋書店のギャラリーや文化祭で作品展示会を開き、夏のキャンプや春秋のハイキング等、活発な活動をしました。

今回、四十四年振りに七十一回生の謄写印刷部の同窓会を、去る八月二十三日（土）に開催して、懐かしく楽しく盛り上がりました。当時の部員は十数名いましたが、今回は九名が出席していました。

これからは毎年、八月の第四土曜日に懇親会をしようと言うことになりました。良かったら先輩、後輩の方々も参加してください。

第七十一回生部長　鈴置章

「謄写印刷部」OB・OG会を来年開催

出席ご希望の方は、平成二十七年七月までに鈴置までご連絡ください。

▼連絡先　090－4858－7280

訃報

伊藤治先生（旧教員）
平成13年4月～平成23年3月まで在職。
平成25年10月3日ご逝去（58歳）

山本幾太郎氏（第36回卒）
元蒲原支部長、同窓会副会長としてご活躍されました。
平成26年2月25日ご逝去（96歳）

榛葉智行先生（旧教員）
平成24年4月～平成26年3月まで在職。前教頭。
平成26年4月21日ご逝去（61歳）

川島義雄氏（第46・47回卒）
第46・47回総代としてご活躍されました。
平成26年6月24日ご逝去（86歳）

清水謙太郎氏（第37回卒）
静商創立百周年記念事業「チャリティー絵画展」にご協力いただきました。
平成26年7月10日ご逝去（93歳）

青田賢治先生（旧教員）
昭和55年4月～昭和58年3月まで在職。元校長。
平成26年7月19日ご逝去（92歳）